

題材名「角のはかり方とかき方」

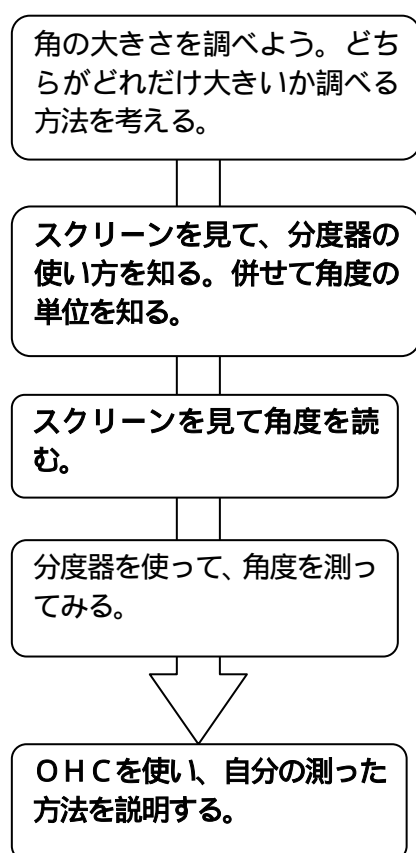
■ 目標

- ・角の大きさを回転の大きさとして捉えることができる。
- ・角度の単位を知り、分度器を使って角度を測定したり、角をかいたりすることができる。
- ・ある角度を2つの角の和や差と見るなどして測定の仕方や書き方を考えることができる。

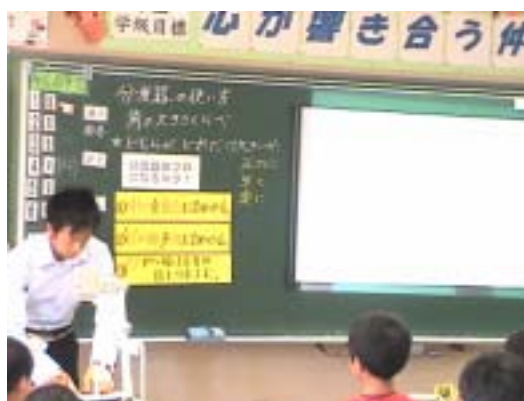
■ コンピューターを活用する利点

パワーポイントや動画で分度器の動きを見せることにより、教師の説明を視覚によって理解させることができ、理解の遅い子どもに対して有効だと考える。また、ICT機器を使用することによって、児童の興味や意欲を喚起し、学習に前向きに取り組ませることができる。

■ 授業の流れ



■ ICT活用場面



WEB上のデジタルコンテンツを使い、分度器の使い方を説明する。中心や0度の合わせ方についてコンテンツを見せながら説明する。併せて、角度の単位を知らせる。手順が分かったらスクリーンを使い練習問題をさせて、全員の理解を図る。最後にOHCを使ってプリントの練習問題を説明させる。

■ 成果と課題

成果

- ・デジタルコンテンツを使うことで角のイメージがよく理解できた。
- ・デジタルコンテンツは効果的であり、児童が集中して学習できた。
- ・児童の反応や授業への意欲・態度も積極的で、分度器の使い方もよく理解できていた。

課題

- ・e-黒板を使うと教室内では40人全員が見えるという点で難があり、黒板がいいのかスクリーンがいいのかなど映す場所を考慮する必要がある。
- ・デジタルコンテンツは子どもの意欲を喚起するのに有効だが、その使用にこだわりすぎると逆にマイナス面が表れることもある。授業全体のバランスを考え、使うねらいをはっきりさせて、使用する必要がある。

■ ICT使用環境

使用 周辺 機器	E-黒板、プロジェクター、 パソコン、OHC
使用 ソフト	ぶんどキンちゃん http://homepage3.nifty.com/tos-aizu/dokin.htm (著作権あり)
使用 教室	普通教室